

平成26年度 日本工学会 公開シンポジウム 「レジリエントな社会と工学」

「災害コミュニケーションシンポジウム」に ついての報告

中田 登志之

情報処理学会 副会長

2014年5月23日

発表内容

1. 災害コミュニケーションシンポジウム開催経緯
2. 災害コミュニケーションシンポジウムの内容
3. まとめと今後の課題

災害コミュニケーションシンポジウム開催経緯

□第2回:セキュリティ心理学とトラスト(SPT)研究発表会

- 日程:2011年12月26日
- 会場:京都大学楽友会館
- 参加者数:20名

□第2回:災害コミュニケーションシンポジウム2012

- 日程:2012年12月20日(木)
- 会場:東京理科大学[PORTA神楽坂] 2012年12月26日
- 共催:SPT研究会、IOT研究会
- 参加者数:20名

□第3回:災害コミュニケーションシンポジウム2013

- 日程:2013年12月26日
- 会場:さくらインターネット研究所セミナールーム
- 共催:SPT研究会、IOT研究会、IS研究会
- 参加者数:40名

第2回:セキュリティ心理学とトラスト(SPT)研究発表会 2011年12月26日 京都大学楽友会館

セキュリティ心理学とトラスト(SPT)研究発表会として開催

✓ 主な内容:

- 震災時の情報通信利用の実態と利用者の心理
- Twitter利用者の震災後の不安と安心
- [招待講演] 災害時救援情報共有 システムSahana(サハナ)の運用と評価
- [招待講演]クラウドソースによる復興支援プラットフォーム、sinsai.info について
- [招待講演] 災害コミュニケーションと復興ウォッチャー

第2回：災害コミュニケーションシンポジウム2012 2012年12月20日(木) 東京理科大学[PORTA神楽坂]

SPT研究会とインターネットと運用技術(IOT)研究会の共催

主な内容(すべて招待講演):

1. 災害復旧・減災の助けとなるIT利活用
2. 緊急時インターネット開放協議会の設立
3. 東日本大震災津波～岩手県の対応と教訓
4. 岩手での災害支援:医療の観点から
5. 東日本大震災における災害時救援情報共有 システムSahana (サハナ)の運用と評価
6. Ushahidi や OpenStreetMapを利用した VGI(Volunteered Geographical Information)活用と復興支援活動

第3回：災害コミュニケーションシンポジウム2013 2013年12月26日 さくらインターネット研究所

SPT研究会、IOT研究会、情報システムと社会環境(IS)研究会の共催

主な内容(すべて招待講演):

1. 災害コミュニケーションと視覚情報の共有
 - 松本 直人(さくらインターネット研究所)
2. 世界へ発進する被災地の現状
 - 古橋大地 (マップコンシェルジュ株式会社)
3. 緊急時の支援活動における意志決定
 - 熊丸由布治 (在日米陸軍基地管理隊)
4. 災害支援組織間における情報共有:仙台での実践
 - 大久保 朝江(特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)
5. 災害時のSNSにおけるデマについて
 - 田中優子(情報・システム研究機構 国立情報学研究所)
6. 災害対応のための情報システム開発に関する課題
 - 畑山満則 (京都大学防災研究所)

情報処理学会のその他の試み: 第76回全国大会イベント:
緊急時における共助型フリーインターネットの課題と
適切な実現に関する討論

2014年3月11日(火) 東京電機大学千住キャンパス

登壇者:

1.



藤枝俊輔(東京大学)

2.



大江将文(自然科学研究機構国立天文台)

3.



畑山満則(京都大学防災研究所)

司会: 村山優子(岩手県立大学)

2014年5月23日

平成26年度 日本工学会 公開シンポジウム

7

まとめ

- 災害コミュニケーションシンポジウムの報告
 - 2011年より毎年12月開催
 - 学際的な内容—IT以外の講演者も招待:
 - 災害対策本部経験者、米軍消防隊、ボランティア組織
 - 共催研究会が増加
 - 2012年より情報処理学会情報環境領域プロジェクト
 - 参加者も徐々に増加
 - 情報系以外のリピータ参加者(例: ボランティア団体)
- 今後の課題
 - 2011年の震災の他、今後の大災害に向けた提言

2014年5月23日

平成26年度 日本工学会 公開シンポジウム

8



1. 災害コミュニケーションと視覚情報の共有

- 松本 直人 (さくらインターネット研究所)
- <http://www.slideshare.net/naotomatsumoto/ss-23767058>
- その他事前に準備すべきデータの例
 - ガソリン給油所と通行実績データ
 - 医療機関と通行実績データ
- <https://sites.google.com/site/prj311/>



2. 世界へ発進する被災地の現状

- 古橋大地 (マップコンシェルジュ株式会社)
- <http://www.slideshare.net/mapconcierge/20131226>
- 大槌町の町の写真 <http://www.gigapan.com/gigapans/146964>
- Open Street Map の紹介 <http://osm.jp/>
- Sinsai.infoの紹介 <http://www.sinsai.info/>
- 伊豆大島台風26号の時の活動紹介
<https://izuoshima26.crowdmap.com>
- 航空測量会社や種々の組織との連携
- UAVを用いたMapping Project <http://twitpic.com/4td1kn>
- Gigapanの活用の話
- Race for Resilience の話 <http://raceforresilience.org/>
- Code for Resilienceの話 <http://www.codeforresilience.org/>

